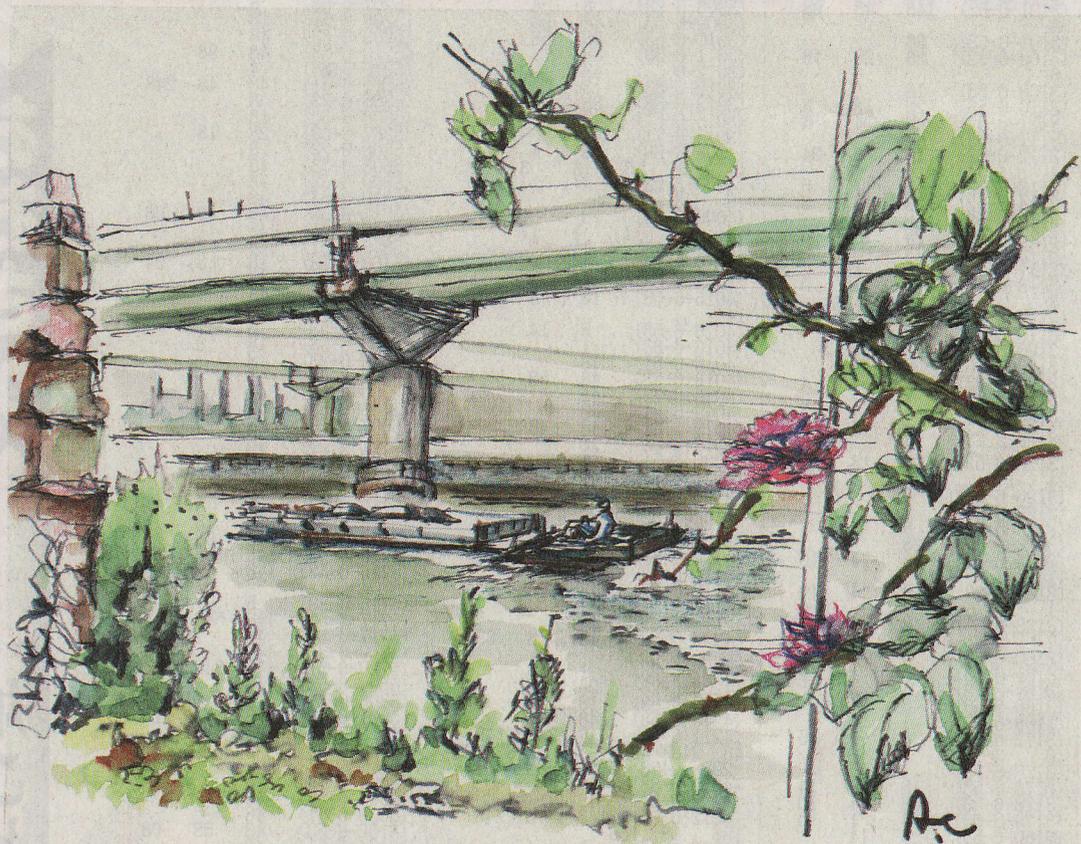


3

中之島バラ園から



メモ
中之島公園は明治24(1891)年、大阪市初の公園として誕生。堂島川と土佐堀川にはさまれた延長約1.5km、約10.6haの敷地の一角に、本格的なバラ園が完成したのは1980年。136品種、約4000株が咲き誇る。入園無料。同市北部方面公園事務所(06・6312・8121)。

御堂筋の薔薇

ラ園にいる今が、うれしくなった。立ち上がって視線を堂島川の方に向けてとちよと、艇長20ほどの船が、30ほどの船をトレーラーバスのように引いて行った。

薔薇は、いつみても飽きない花の一つである。パーティーが早めに終わったので、中之島のバラ園をのぞいてみたくなった。中央公会堂の横を通ったとき、植え込みの草むらに埋没しそ

は、明治2年、この地に設けられた大阪通商会社と為替会社によってはじめて市民の間に扶植された」と説明されていた。明治当初か、近代的経営の情報がお米と一緒に陸揚げされ、商

川は今も働いている。昔からいろいろなモノを大阪の街に陸揚げさせてきた堂島川の水運機能は、今でも健在なのである。安い石油でトラック全盛時代もあ

堂島川の水運機能、今も健在

うな低い石碑が、ふと目に留まった。

売の資金運用などの経営指導に、大いに指導性を発揮されていたように思われる。まさに経済の中心的拠点である。近くの御堂筋の西側に、日銀ビルがあるのもうなすける。

川の活性化されると川が汚れていくのかな、いや逆に奇麗になるかな、と思いついていたら、西日が川面に赤く染めていた。水は人を赤く染めていた。水を清め、こころを和ませてくれる。水づくりは、いつ

表に「大阪通商・為替会社」と銘を打って、背には「明治以後の大阪に於ける産業経済の発展に大きく貢献した。会社、銀行の近代的経営に関する新知識

バラ園に入ると、何組かのカップルが堂島川側のベンチに座っていた。私もベンチに腰掛け、快い風が運んでくれる薔薇の上品な香りを嗅ぎたい。そこを清め、こころを和ませてくれる。水づくりは、いつ



薔薇の色彩に心が和み、バも努めたいものである。